

令和4年度長久手市協働まちづくり活動補助金 補助事業ふりかえりシート

団体名 クーテシガーナキッズダンス隊

事業名 長久手応援ソング普及による子どもの健全育成事業

1 事業の実施結果（対象者、事業内容、参加人数など）

- ①体験会 ・ R4 年 4 月 9 日は参加者 14 人（9 人が 10 期に加入）
・ R4 年 9 月 10 日は参加者 11 人（4 人が 11 期加入）
- ②アウトリーチ ・ R4 年 7 月 26 日に北児童館を訪問。参加者 12 人。
・ 7 月に予定していた老人保健施設への訪問はコロナの影響で中止。その後も訪問がかなわず、12 月にビデオレターをお届けした。
- ③10 期生コンテスト ・ R4 年 9 月 3 日に文化の家で実施。31 人が参加。
- ④11 期生発表会 ・ R5 年 3 月 30 日に開催。50 人が出演。観客動員数は 294 人。

2 事業の成果（事業によって解決できたこと、参加者の反応、市と協働してよかったことなど）

- ①体験会
『クーテシガーナ』のダンスを通じて異年齢交流や協調性、創造性を育てるなど、キッズ隊で大切にしていることも伝えることができ、加入者が増えた。
- ②アウトリーチ
・ R4 年 7 月 26 日に北児童館を講師と OB を含む 7 人の隊員、4 人の保護者で訪問。参加者と、仲良くなるゲームや『クーテシガーナ』を踊って楽しく交流できた。
・ 予定していた老人保健施設への訪問はコロナの影響でかなわなかったが、ビデオレターで子ども達からのメッセージとダンスをお届けし喜んでいただいた。
- ③コンテスト
・ 4 チームに分かれて実施。自分たちが選んだ曲に『クーテシガーナ』の振り付けをする時には皆でアイデアを出し合ったり、高学年が低学年をよくサポートできた。
・ 審査員として文化の家館長にも参加していただいた。
- ④発表会
・ 舞台監督、音響、照明、ダンスでの参加や小道具の作成に至るまで文化の家のスタッフの協力があり完成することができた。
・ 講師、出演者の他、保護者も一丸となり創り上げることができた。

ふりかえりシートは、2 ページ以内で記入すること。

3 問題・課題（補助事業を通して気付いた点、課題など）

施設使用料の高騰に伴い、メンバーの会費負担が増加している。

4 新たな展開（今後の目標、新たに取り組みたいことなど）

コロナ前のように定期的に老人保健施設への訪問をし、『クーテシガーナ』を一緒に踊ったり、お年寄りの知っている童謡で手遊びをするなど交流を深めたい。
お年寄りに喜んでいただく事により、子どもたちの自己肯定感も高める。

5 補助事業の写真（補助事業の様子が分かるものを添付してください。）

写真 1

（写真 1 の説明）

写真 2

（写真 2 の説明）

ふりかえりシートは、2 ページ以内で記入すること。

令和4年度長久手市協働まちづくり活動補助金 補助事業ふりかえりシート

団体名 ボクラモ

事業名 ありがたいの思いを込めて、スカイランタンを夜空に飛ばそう 2022

1 事業の実施結果（対象者、事業内容、参加人数など）

事業内容：市が洞まちづくり協議会と若者（学生）との協業で、クリスマスにランタンを打ち上げるイベントを実施する
対象者：長久手市民（主に市が洞学区在住）
参加人数：75組 300人以上が来場
※100組の打上げ枠に対して120名が応募（当日は75組が参加／歩留まり75%）

2 事業の成果（事業によって解決できたこと、参加者の反応、市と協働してよかったことなど）

＜事業を通して実現できたこと＞
・若者の持つ得意領域／取り組みを、まちづくり活動に連動させる／活用すること
＜参加者の反応＞
・学生の対応や交流が出来たことに対して参加者からも好評だった（事後アンケートより）
＜市と協働して良かったこと＞
・各々が持つ得意領域で事業の企画、運営が出来たこと
（市管理の施設を使用する際や、関連団体へのファーストコンタクトは市との協働が頼りになる）

3 問題・課題（補助事業を通して気付いた点、課題など）

・行政や自治会主催のイベント時、参加者は有料に対してのハードルが高い。
行政・自治会主催が故に、安価な参加料を期待されている。今回は一部参加費の負担形式に挑戦したが、今後の値上げは、色々な意見や視点を頂きながら検討が必要

4 新たな展開（今後の目標、新たに組みたいことなど）

＜若者・学生の連携＞
・接点の出来た学生、学生団体との次の連携機会の創出（23年度4月以降でのイベント等）
・愛知淑徳大学CCCとの連携により、新たな学生/団体との接点づくり
＜イベント自体の改善・挑戦＞
・実施時期/予備日の確保
ランタン自体が風の影響を受けやすいので、風が強い冬以外での実施（夏～秋）
・助成金の活用比率低減
学区内事業者からの運営資金の提供/協賛頂ける企画づくり

5 補助事業の写真（補助事業の様子が分かるものを添付してください。）

写真 1



会場となった市が洞小学校の体育館の当日の様子。当初は運動場で開催予定でしたが、強風のため体育館での開催に変更となりました。体育館奥のステージおよびステージ付近では学生主催のコンテンツが実施され、体育館の後ろ側で、ランタンを打上げました。

写真 2



ランタンイベントの運営メンバーとの開始前記念写真。愛知淑徳大学の学生団体 2 グループと個人参加の総勢 22 名がイベントに携わりました。

ふりかえりシートは、2 ページ以内で記入すること。

令和4年度長久手市協働まちづくり活動補助金 補助事業ふりかえりシート

団体名 みんまちフォーラム実行委員会

事業名 みんまちフォーラム2022

※ 事業の中で複数の活動をした場合は、①、②のように番号を振り全ての活動について記入してください。

1 事業の実施結果（対象者、事業内容、参加人数など）

- ① 第2回みんまちフォーラム「市民主体のまちづくりってどういうこと？」（'220529）
- ② 第3回みんまちフォーラム「混ざり合うって、カンタン？ムズかしい？」（'221106）
- ③ 第4回みんまちフォーラム「もっと知り合おう！もっと混ざり合おう」（'230319）
（何れも対象は市民、議員、行政パーソン。基調講演とワークショップ。各回約60名参加
第4回は「リニモテラス運営協議会」と共催）④会報「みんまちフォーラムレポート」創刊。

2 事業の成果（事業によって解決できたこと、参加者の反応、市と協働してよかったことなど）

- ① フォーラムでは、目的である「市民、議員、行政」の三者が気軽に平場でフランクにまちづくりについて対話する、という点ではアンケート結果から見ても好結果を生んだ。また第4回は出会いの広がりを目指してリニモテラス運営協議会と共催、新しい参加者を得た。参加者からは自分の知らない世界を知ることが出来て良かったとの声が多かった。
- ② 企画政策課にはフォーラムの成果を「みんまち条例検証会議」にフィードバック出来た。

3 問題・課題（補助事業を通して気付いた点、課題など）

常に参加者の新陳代謝を図っているが、一般にオープンしているフォーラムではないので、メンバーが固定的になりつつある。かと言って一般完全開放すると、現在の実行委員会のチカラでは制御出来ないという悩みがある。またフォーラム全体に心地よく参加してもらうには、マックス60人位に抑えたほうがいいという経験も得ている。（WSテーブルで10程度）テーマ設定にもさらなる工夫が必要。補助事業の金額が少ないと、動きに制限が出てしまう。

4 新たな展開（今後の目標、新たに取り組みたいことなど）

- ・第4回で実施したように、市内の活動団体とコラボして課題を鮮明にあぶり出すとともに新しい参加者の輪を広げるよう工夫していきたい。
- ・会報を定期的に発刊すると共に、SNS（現在は Facebook に「みんまちフォーラム@ながくて」を開設）を使い活動の周知と参加意欲の向上に努める。
- ・行政との協働を更に密にし（会話のチャンスを広げ）、課題の抽出や効果的な運用方法を研究していく。

5 補助事業の写真（補助事業の様子が分かるものを添付してください。）



写真左「第2回みんなまちフォーラム」@長久手市中央図書館

写真右「第4回みんなまちフォーラム」@リニモテラス公益施設（共催：リニモテラス運営協議会）



写真左 「みんなまちフォーラム実行委員会公開勉強会」（日進市から島村紀代美さんを迎え市民主体のまちづくりについて勉強）（202209）写真右 会報「みんなまちフォーラムレポート」創刊号（20230319 発刊）

ふりかえりシートは、2ページ以内で記入すること。

令和4年度長久手市協働まちづくり活動補助金 補助事業ふりかえりシート

団体名 ながくて結の会

事業名 長久手版！サステイナブルな農と人

※ 事業の中で複数の活動をした場合は、①、②のように番号を振り全ての活動について記入してください。

1 事業の実施結果（対象者、事業内容、参加人数など）

対象者	事業内容	参加人数	アンケート
キンダーホルト児童	さつまいも苗植え会（6月4日）	28人	未実施
パークサイト・ヒルズ	夏祭り（8月6日）	8人	66名回答
市内住民 キンダーホルト児童	いちご苗植え会（9月25日）	8人	未実施
市内住民 キンダーホルト児童 放課後等デイサービス児童	さつまいも収穫祭（11月19日）	155人	34名回答
市内住民	バラアレンジメント教室共催（12月4日）	32人	21名回答
市内住民	もちつきやきいも会（1月28日）	121人	27名回答

2 事業の成果（事業によって解決できたこと、参加者の反応、市と協働してよかったことなど）

アンケート結果より、農業体験を希望する方や、東地区のみどりや農業、景観を残したいという意見が多くあった。また子ども向けにイベントを開催することで、特に子どもたちに農ある暮らしを届けたい家族の希望を確認できた。インスタグラムで団体と市民がつながることで、参加者はリピーターも多かった。また、市民として団体の活動に参加し手伝いたいという声もあった。

イベント前後では地域の方も気にかけて見守ってくださるなど、交流もできた。

市とは、場所の提供や、イベントの周知広告、備品の貸し出しなどにおいて協働できてよかった。

3 問題・課題（補助事業を通して気付いた点、課題など）

東地区の農家とのつながることができたが、農家の抱える課題を具体的に解決できる策までは検討できていない。お互いに協力する関係は構築できた。

参加者の中に、障がいを抱える子どもや、家族等の確認ができたが、具体的な困り後の相談には至れていない。子どもの世帯の参加も多く、またリピーターも多いことからイベントを継続する中で、つながり方を検討したい。今回は、子どもを団体の職員に預けることや、成長を相談する家族もいたので、継続しながら、相談場所としての機能も果たしていきたい。

ふりかえりシートは、2ページ以内で記入すること。

4 新たな展開（今後の目標、新たに取り組みたいことなど）

来年度は、畑を増やし、子ども向けにさつまいもの収穫体験ができるように準備する。特にさつまいも体験の企画を持たない保育園等と連携する。

収穫だけでなく、苗植えから手入れまでをイベントにすることで収穫だけでなく体験ができるようにする。

畑を開拓し、農業を仕事にしたい若者や、学校等になじめない児童、自宅では過ごすことが難しい障がい児の活動の場として調整する。

5 補助事業の写真（補助事業の様子が分かるものを添付してください。）



さつまいも苗植え会（6月4日）
耕作放棄地でさつまいもの苗植えを実施。



さつまいも収穫祭（11月19日）
44組の家族が参加。



もちつきやきいも会（1月28日） 30組の家族が参加
（参加者コメント）

・餅つきが楽しかった、お友達とお餅や焼き芋などを一緒に食べられて楽しかった、と子供は言っています。

・焚き火で焼き芋作りやお餅つきなど、普段なかなか出来ない貴重な体験をさせて頂き良かったです!!

ふりかえりシートは、2ページ以内で記入すること。

令和4年度長久手市協働まちづくり活動補助金 補助事業ふりかえりシート

団体名 ういういの会

事業名 ながくて人財マップ・人財図鑑づくり事業

※ 事業の中で複数の活動をした場合は、①、②のように番号を振り全ての活動について記入してください。

1 事業の実施結果（対象者、事業内容、参加人数など）

対象者：市民（市内在住、在勤、在学、在活）

事業内容

- ① 「み～んなでまち活」～協働についてみんなで対話しよう～
ブリッジ人財の事例発表（全国、企業、長久手市 CSW 等）と対話会 参加 30 名
- ② LINE 公式アカウントを取得し「気軽にゆるやかにつながる」関係の仲間を増やし、情報提供をしながら参加者を募っていく LINE 公式アカウント友だち 138 名
- ③ LINE 公式アカウント運用講習会を開催し運用管理の基本やユーザーとのコミュニケーションについて学ぶ 参加 8 名
- ④ LINE 公式アカウント友だちへ情報発信・募集応募の実証実験 7 回実施 参加 95 名

2 事業の成果（事業によって解決できたこと、参加者の反応、市と協働してよかったことなど）

- ① の事業では、全国的な事例や企業、地域福祉などの事例紹介をしたことで、ゆるやかにつながるネットワークができると、誰でもブリッジ人財になり得ることに気付いてもらう機会ができた。協働により広域のゲストを招くことができた。
- ② の事業では、市や県をまたいだ仲間ができ物理的なつながりだけでなく、アイデアやアドバイスを LINE 公式アカウントで提供してくれるような新たなつながりを発見できた。加えて ZOOM 会議も活用して打ち合わせを重ねることができた。協働により事業の信用性を担保できた。
- ③ の事業では、LINE 公式アカウント運用管理を学び LINE 活用への興味関心が深まった。
- ④ の事業では、協働により情報発信、募集応募の件数が増えた。

ふりかえりシートは、2 ページ以内で記入すること。

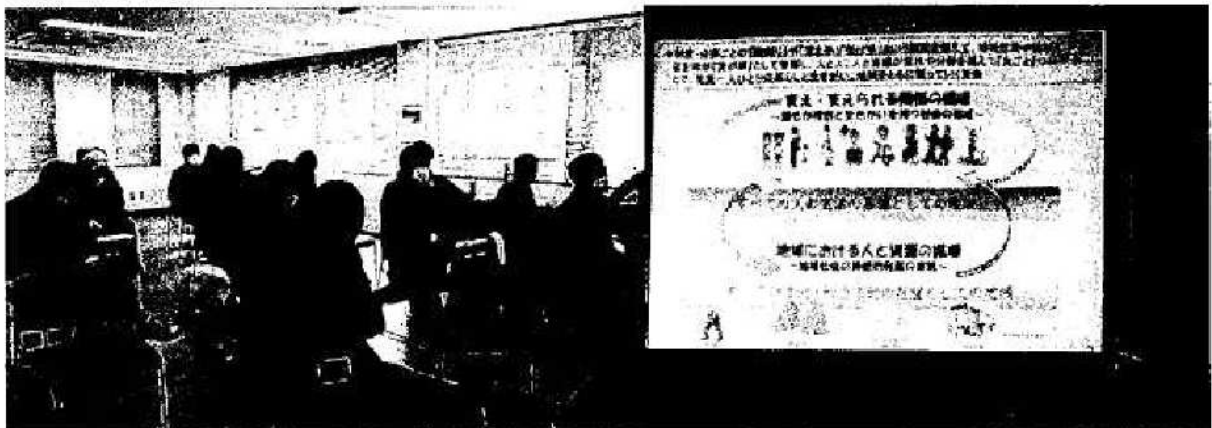
3 問題・課題（補助事業を通して気付いた点、課題など）

- ・日頃からスマホやPCを利用している人は気軽にLINE 公式アカウントに参加してくれた。
- ・団体同士の交流があった人たち（リアルでつながっていた）はLINE 公式アカウントの参加が少なかった。
- ・LINE 公式アカウントに情報発信する素材集め等、今後いくつかの団体とのコラボレーションが必要。

4 新たな展開（今後の目標、新たに取り組みたいことなど）

- ・ブリッジ人財への具体的な呼びかけがあまりできなかったもので、次年度に向けて引き続き実施していきたい。

5 補助事業の写真（補助事業の様子が分かるものを添付してください。）



「み～んなでまち活」～協働についてみんなで対話しよう～の事例紹介の様子
真剣に耳を傾ける参加者やスマホを使って質問事項を打ち込む参加者たち



公式LINE アカウント運用講習会の様子
運用管理者になるための講習は度々必要になると思います。

ふりかえりシートは、2ページ以内で記入すること。

令和4年度長久手市協働まちづくり活動補助金 補助事業ふりかえりシート

団体名 名古屋外国語大学プレイスメイキング研究会

事業名 子育て世帯の交流プラットフォームネットワーク化事業

※ 事業の中で複数の活動をした場合は、①、②のように番号を振り全ての活動について記入してください。

1 事業の実施結果（対象者、事業内容、参加人数など）

おそとで映面上映会

対象者：長久手市在住の親子

事業内容：市が洞小学校区地域共生ステーション建物壁面に『SING』を上映。

客席後方には、ドカン型屋台を設置し、親が立ち飲みを楽しめる空間を創出した。

参加人数：13組 35名

2 事業の成果（事業によって解決できたこと、参加者の反応、市と協働してよかったことなど）

駐車場という場所を活用し、地域住民向けのイベントを開催したことによって、人々の集える場所をつくることができた。子供だけではなく、屋台を通じてお酒を飲める環境があることによって大人も気軽に楽しめる空間を創出したことも好評をいただいた。また、活動実績のない当団体が、地域共生推進課、市が洞まちづくり協議会のご協力をいただきながら、広報活動や使用許可、当日の運営などに関してお力添えをいただいたことによって実現することができた。

3 問題・課題（補助事業を通して気付いた点、課題など）

今回はスタートアップの事業のため、単発のイベントとして屋台展開を行ったが、人々の居場所づくりを実現するためには、定期的に本イベントのような活動がまちなかで行われる必要があると感じている。そうすることによって、愛着をもってさらに訪れやすい居場所づくりが実現できると考える。

4 新たな展開（今後の目標、新たに取り組みたいことなど）

街路や公園など、様々なパブリックスペースにおいて、定期的な活動を行っていきたい。そのほか、地域のイベントにも積極的に参加をして、活動を発信していきたい。

ふりかえりシートは、2ページ以内で記入すること。

5 補助事業の写真（補助事業の様子が分かるものを添付してください。）

写真 1



アルコール類を含むドリンクの提供を行い、子供たちの映画鑑賞の後方で地域住民同士で立ち飲みを楽しむことのできる環境を創出することによってコミュニケーションが生まれ、交流を深めることができた。

写真 2



簡易に移動や設置ができ、子どもから高齢者まで、様々な市民がそれぞれのニーズに基づいた利用ができる屋台、そして都市郊外のようなまちの顔や特徴を持たない土地においても容易に展開できる屋台として、あらゆる場所で発見することの出来る電柱に接続可能な簡易屋台として電線ドラムを再活用し、設計した。なお、過去に存在した空き地のシンボルの一つである土管をモチーフに、屋台の屋号を「DOKAN BASE」と命名し、活動を行っている。

ふりかえりシートは、2 ページ以内で記入すること。

令和4年度長久手市協働まちづくり活動補助金 補助事業ふりかえりシート

団体名 Paleix

事業名 LGBTQおはなし会開催とLGBTQ啓発資料 作成

※ 事業の中で複数の活動をした場合は、①、②のように番号を振り全ての活動について記入してください。

1 事業の実施結果（対象者、事業内容、参加人数など）

- ①おはなし会：LGBTQ当事者もそうでない人も参加できるおはなし会を二回開催。会場はリニモテラスを使用した。参加者は団体メンバーの知り合い数人。
- ②冊子（ぱれマガ）作成：中高生や大学生等の若年層を中心ターゲットとし作成。団体メンバーそれぞれが伝えたい内容の記事を担当し、教材的ではない冊子を目指した。

2 事業の成果（事業によって解決できたこと、参加者の反応、市と協働してよかったことなど）

- ①おはなし会：おはなし会の場を設けることによって、近辺で生活しているLGBTQ当事者のよりどころの可能性になることができたのではないかと思います。「当事者としてもこういった場があるのは嬉しい」という参加者の声を聞くことができた。
- ②冊子（ぱれマガ）作成：当シート作成時には読者の手元に冊子が届いていない段階にある為、実質的な成果を述べることはできないが、サンプルを確認していただいた当事者団体の方からは好意的な感想を頂いた。

3 問題・課題（補助事業を通して気付いた点、課題など）

- ①おはなし会：課題として、団体知名度の低さやイベント運営に関する知識不足により参加者を集められなかったことがある。加えて、先行事例をしっかりと研究・参考にするまでに至らなかったため、今の状態で多くの参加者を集められたとしてもプライバシー保護等至らない点が多いであろうと推測できる。
- ②冊子（ぱれマガ）作成：センシティブな話題を取り扱うため、執筆者のプライバシーや言葉の端々への気遣い、また、誰かの手に渡った後アウティングに繋がってしまう可能性など、幅広い考慮が必要。また、それぞれの生活や学業の事情があるため原稿の締め切りや各所への確認は早め早めにするべき。印刷所の繁忙期と被ると入稿が遅れるので時期の見極めも大切である。

4 新たな展開（今後の目標、新たに取り組みたいことなど）

- ①おはなし会：3項目で挙げた問題点の解決に取り組みながら、継続して開催していきたい。特にSNSを使った宣伝に力を入れ、中高生に活動情報を届けたい。

ふりかえりシートは、2ページ以内で記入すること。

②冊子（ぱれマガ）作成：頒布の機会を常に伺いながら手にとってくれる人を増やしたい。その人の何か役に立てたら一番だが、たとえ否定的だったとしても「LGBTQ+」について一瞬でも考えてもらえるきっかけになれば、「LGBTQ+をもっと身近に」という目標達成につながると思う。

5 補助事業の写真（補助事業の様子が分かるものを添付してください。）

写真1



（写真1の説明）

①おはなし会の会場設営。リモテテラスの一室を指している。

写真2



（写真2の説明）

②冊子（ぱれマガ）の目次ページ。冊子の方向性やメンバー紹介も含まれている。

ふりかえりシートは、2ページ以内で記入すること。

令和4年度長久手市協働まちづくり活動補助金 補助事業ふりかえりシート

団体名 ジェンダー研究会 Coalook

事業名 被害者にも加害者にもならないために 若年層のデートDV防止啓発活動

※ 事業の中で複数の活動をした場合は、①、②のように番号を振り全ての活動について記入してください。

1 事業の実施結果（対象者、事業内容、参加人数など）

- ①フリーペーパー：デートDVとは何か・デートDVのQ&A・デートDVの被害者に気づいたときの接し方・相談窓口の4つをテーマ約2000部作成→公共施設を中心に設置
- ②インターネットラジオ：デートDVとは何か・社会的暴力と経済的暴力・相談機関についての3つをテーマにアプリを使用して収録・公開→全体で50再生以上された

2 事業の成果（事業によって解決できたこと、参加者の反応、市と協働してよかったことなど）

- ①フリーペーパー：市のアンケート結果の共有やフリーペーパーを多くの場所で設置できるように子ども家庭課とミーティングや活動報告書を提出することで多くの人に周知できるような活動ができた
- ②インターネットラジオ：LGBTQやジェンダーなどの学びを本件の活動に活かすだけでなく、年齢や市内の人などに限定することなく多くの人に周知できるようにインターネットを利用するなど複数の方法を利用して活動することができた

3 問題・課題（補助事業を通して気付いた点、課題など）

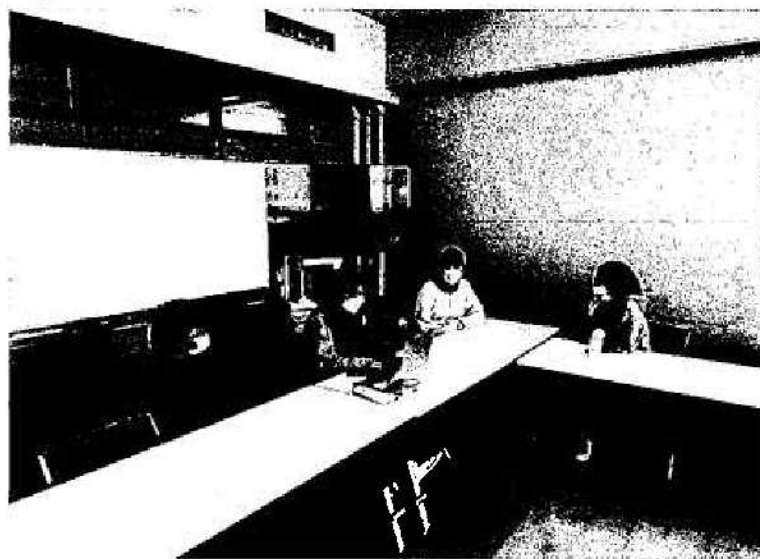
- ①フリーペーパー：印刷予定の都合上、予定部数より発行部数が減少したこと、多くの内容を書き込むことによってフリーペーパーが日常的に持ち運べないような大きさになったこと
- ②インターネットラジオ：インターネットラジオが身近なものではなかったため、周知できほどの拡散力がなかったこと、デートDVという内容を言葉だけで説明するには内容に限りがあったこと

4 新たな展開（今後の目標、新たに取り組みたいことなど）

今回は若年層がデートDVの被害者にも加害者にもならない為に啓発することを目的とし、フリーペーパーとインターネットラジオの2種類の方法で活動した。制作前にアンケート調査を行ったが回答者が少なかった。また、相談業務をしている人の話をきくことで事例を詳細に聞くことで近年の被害の状況を制作に反映できるようにしたい。また、継続的にこの活動を続けることで誰もが被害者や加害者になる可能性があることを意識してもらえるようにしていきたい。そして、今回の活動前と活動後でデートDVの認知率が上がるように、担当課と協働で活動をすることで若者が訪れやすい場所やSNSを利用することで活動を続けていきたいと考える。

ふりかえりシートは、2ページ以内で記入すること。

写真1



(写真1の説明)

フリーペーパー班による打ち合わせの様子、内容やレイアウトについて話し合いながら制作をした。

写真2



(写真2の説明)

製作班に関わらず集まってアンケート調査の結果について話し合いを実施した。アンケート結果がそれぞれの制作に反映できるように話し合いの内容を各班に持ち帰った。

ふりかえりシートは、2ページ以内で記入すること。